

令和7年度 市教研教頭部 事業計画

1 研究構想

(1) 研究主題

未来を切り拓く力を育む魅力ある学校づくりを目指して（第Ⅸ期3年次）

(2) 主題設定の理由

本年度より第4次浜松市教育総合計画がスタートする。第4次浜松市教育総合計画では、予測困難で急激に変化する社会の中、持続可能な社会の創り手の育成とウェルビーイングの向上を目指し「描く夢や未来の実現」を基本理念としている。この基本理念を達成するため、「主体性」「多様性・包摂性」「信頼・協働」をコンセプトとし、「未来の創り手に求められる力の育成」「多様なニーズに対応した学びや支援の充実」「『はままつ先生』の魅力と資質能力の向上」「安全・安心に学べるより良い教育環境の整備」「多様な人材・主体との連携・協働」の5つの政策が掲げられている。

浜松市教頭会では、社会の変化に柔軟に対応しながら、自校の教育活動の在り方について見直しを進めてきた。浜松市が目指す「描く夢や未来の実現」とそれを達成するためのコンセプトや5つの政策は、教頭が自校で具現化すべきことと一致しており、その実現を目指していく必要がある。しかし実際には大量交代期を迎え、3年間で半分以上の教頭が入れ替わっており、広く様々な対応が求められる教頭職の職責を全うするための土台として、幅広い知識を身に付けることが急務となっている。

本年度の研究主題は、第13期（令和5年度～令和7年度の3年間）の全国統一研究主題「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」との関連を図り、「未来を切り拓く力を育む魅力ある学校づくりを目指して」を継続する。研究の視点も同様に「教育課程・子供の発達」「環境整備・組織運営」「教職員の専門性・教頭職務」の3つとし、各校の学校教育目標の具現に向けた教頭としての役割について研究に取り組んでいく。

「教育課程・子供の発達」	… 社会に開かれた教育課程の創造、求められる資質・能力の育成、多様なニーズに対応した学びや支援
「環境整備・組織運営」	… 危機管理体制の在り方、教育の情報化、組織マネジメント、人材育成、コミュニティ・スクール
「教職員の専門性・教頭職務」	… 教職員の資質向上、教職員の協働体制づくり・チーム学校における取組、働き方改革の推進

本年度の研究にあたっては、まず教頭自身が学校業務で最も大切なことである「子供を守る」「法令を守る」ために、いじめ問題や防災、事務、渉外等について全体研修会を行う。さらに、研修を基に学んだことを各校で実践し、実践事例を各部会で共有することで、よりよい教育活動の実現に向け、全校の教頭の力量を高める研究を進めていきたい。

(3) 評価他

ア 前記3つの視点からの研究は、第4次浜松市教育総合計画に照らした達成度とともに、各校の実践に質の高まりが見られるかを評価しながら推進する。

イ 必要に応じて各校へのアンケートや聞き取り調査を行う。

ウ 浜松市教育研究会教頭部の研修会をもって、浜松市教頭会の研修会にあてる。

（教頭会会則第6章第10条の2より）

2 研究組織及び各部門の担当内容

(1) 「県大会」部門

：県研推関係、県教頭会研究大会の運営及び参加に関する庶務、要項作成、発表内容の検討

- (2) 「市全体研修」企画運営部門：浜松市教育研究会教頭部における全体研修会の企画及び運営、課題検討研修会の企画及び運営
- (3) 「部会研修」部門：浜松市教育研究会教頭部における部会研修会の企画及び運営、研究集録の作成

3 研究推進の方法

(1) 基本的な考え方

研究活動については、部会研修を中心に研修を充実させる。また、浜松市教育研究会として行う講話やワークショップ型の研修を通して、教頭として必要な知識を学ぶ。

(2) 県大会と部会研修について

- ア 令和7年度は、県研究大会で6部会が発表をする。浜松市は、第1B課題（教育課程に関する課題）で発表する。
- イ 12月4日（木）の市教研教頭部の研修会で、6部会が実践発表をする。
- ウ 各部会の研修の成果を、研究資料の形式（別紙）によって部会毎にまとめる。発表部会（6部会）は6ページ、その他の部会は6ページ以内にまとめる。
- エ 部会毎にまとめた内容は、T-portを利用して全教頭に電子媒体で配付する。

(3) 実践の共有

- ア 第2回市全体研修会の学びを基に、実践を積む。実践の成果と課題等を第3回市全体研修会で持ち寄り、共有する。
- イ 部会研修の内容は部会ごとレポートにまとめたものを研究推進委員会で集約し、T-portを利用して全教頭に電子媒体で配付する。

(4) 課題検討研修会

必要に応じて、喫緊の課題や旬のテーマについて、講師を招聘して研修会を行い、教頭職務についての課題解決を図っていく。（本年度は第2回全体研修会の中で実施）

4 部会研修

- (1) 昨年度まで各部会で行ってきた研究を継続しながら（継続性）、「教育課程・子供の発達」「環境整備・組織運営」「教職員の専門性・教頭職務」を視点としてテーマを決定し、各校の実践事例を持ち寄り、教頭としての関わり方（関与性）、工夫・改善した点（協働性）、成果と課題等について検討する。
- (2) 各部会の研修テーマ、実践と第4次浜松市教育総合計画との関連項目を確認しながら、達成度とともに、各校の実践に質の高まりが見られるかを評価しながら推進する。
- (3) 実践事例の検討を通して、教頭としての力量を高め、魅力ある「豊かな学校づくり」「質の高い教育実践」「教職員の育成」の推進について協議する。

◆県大会・浜松市全体発表の経過と今後の予定（令和7年4月現在）

年度	県大会	県	市	部会	課題（県の研究課題）
4年 (東陸)	○県研推	○	○	3部会	第2A課題 子どもの発達に関する課題
5年	○県研推	○	○	4部会	第5課題 教職員の専門性に関する課題
6年	○県研推	○	○	5部会	第3課題 教育環境整備に関する課題
7年	○県研推	○	○	6部会	第1B課題 教育課程に関する課題
8年	○県研推	○	○	7部会	第4課題 組織・運営に関する課題
9年	○県研推	○	○	8部会	第5課題 教職員の専門性に関する課題
10年	○県研推	○	○	1部会	第2課題 子どもの発達に関する課題
11年	○県研推	○	○	2部会	

※令和6年度より、第1分科会は第1分科会A、第1分科会Bとなる。（ABとも内容は同じ）